

(別紙5)

# 調査報告書

外部評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

訪問調査日	19年 9月 14日
調査実施の時間	開始 10時 00分 ~ 終了 15時 00分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームなごみの家 ( 福島県 )
-------------------	-------------------------

評価調査員の氏名	氏名 <u>大野 恒夫</u>
	氏名 <u>熊谷 まゆみ</u>
事業所側対応者	職名 <u>管理者</u>
	氏名 <u>紺野 彩子</u> ヒアリングを行った職員数 ( 2 )人

**※記入方法**

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。

**※項目番号について**

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

**※用語について**

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

---







[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	770101749
法人名	福島中央市民医療生活協同組合
事業所名	なごみの家
所在地	福島市北沢又字下台前1-2 電話024-555-1020
評価機関名	会津医療生活協同組合
所在地	会津若松市東千石1-2-13
訪問調査日	平成19年9月14日

【情報提供票より19 9月14日

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 7日
ユニット数	2 ユニット
職員数	17人
利用定員数計	18人
常勤	13人
非常勤	2人
常勤換算	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200円		

(4) 利用者の概要 (8月20日)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	0	要介護2	5		
要介護3	9	要介護4	4		
要介護5	0	要支援2			
年齢	平均 82.6歳	最低 71歳	最高 92歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上松川診療所 須川診療所
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は利用者の立場に立ったケアをしており、利用者の表情も穏やかで、自分の家に居る感覚となっている方もいる。法人の医療機関、老人保健施設との連携は健康管理や医療面で安心感を与えている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	介護計画の見直し~計画期間終了時に全員の評価、見直しを実施されるようになった。感染症対策~全員による学習会を実施した。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全員で1項目ごとに話し合いを行った。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	利用者や運営の報告を行い、出された意見はできるところから改善するようつとめている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議には家族が5.6人参加しているが、あまり意見は出されない。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	なごみ新聞を配布したり、町内会にも加入し、薯煮会、花見などへの参加をよびかけている。



## 2. 調査報告書

調査員氏名 大野 恒夫 / 同行調査員氏名 熊谷 まゆみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より運営方針として「社会生活の継続」を掲げている。また、地域密着型サービスとしての役割についても職員に話をしており理解されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング等で利用者一人一人のカンファレンスを行うが、その際に理念と結びつけながら話し合っている。各棟の玄関にそれぞれの理念を掲示し、毎月の理念も立て理念の実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設の老人保健施設と共に町内会に加入している。なごみ新聞を配布し、芋煮会、花見会などの参加を呼びかけている。		ホームから離れた町内会に加入しているので、ホームに隣接する町内会に加入し、地元の人びととの交流に取り組むことを検討してほしい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で1項目ずつ話し合っ取り組み、前回の外部評価を受けて、ミーティング等で話し合い改善に向けて出来るところから取り組んできた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者や運営の報告を行い、意見を出してもらっている。出された意見は全体に周知し出来るところから改善にむけて努力している。		隣接する町内会役員の運営推進会議への参加について検討してほしい。
6	9				
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	なごみ新聞の送付、面会時、電話等で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族が毎回5, 6人参加しているがあまり意見は出されない。		サービスの質の確保・向上のためには家族からの率直な意見を運営に活かす事が重要であることを家族に理解してもらうように努めてほしい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージを最小限に抑えるために異動の時期をずらすなど配慮している。		異動や離職を最小限に抑える努力や配慮について法人の理解がえられていると思われるが、1年で5人の異動、離職は多いので、さらなる配慮が望まれます。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人、中堅など職員の段階に応じた研修や学習会に参加してもらうよう努力している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し、学習会、事例検討会などに参加している。相互訪問の受入を行っている。		
gu <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と共に暮らすパートナーとしてケアにあたるよう職員につたえており、職員も本人の主体性を尊重し、出来ない部分だけを支えるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を一部取り入れて本人の思いや意向を把握するように努めるとともに、日々の関わりの中で掴んだ情報はケース記録に記入し、プランに反映させるようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	実地調査による情報、入居後の観察等をもとに本人・家族の意見を含めて職員で話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画の実施期間が終了した時点で評価を行い、家族に説明し、意見を取り入れるようにしている。状態変化があった場合は必要な見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に家族が同行する場合は、情報提供表(または口頭)を持って行ってもらうとともに、受診結果に関する情報も共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアに関する学習会・研修に参加し、知識として持っているが具体的な取り組みに関する話し合いは行っていない。	○	家族からも重度化した場合の心配が出されていることもあり、重度化や終末期にむけた具体的な方針を作成し、家族、医師、看護師、職員等関係者全員での方針の統一、継続した話し合いが望まれます。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導の声かけなどプライドを傷つけるような対応をしないよう努めている。記録などの保管には配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、食事、外出、入浴、就寝などは一人ひとりのペースに合わせた対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者とメニューを相談し、一人ひとりの力にあわせて調理の手伝い、片付けを職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日24時間入浴可能であり、本人の意思を大切にし、入浴の支援をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	家事参加などの役割、畑仕事、縫い物、習字などの楽しみごと、外出による気分転換などの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	隣接する老人保健施設のデイケアに遊びに行ったり、散歩、ドライブなど外の空気に触れる機会を作っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
		○鍵をかけないケアの実践			

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	見守りを重視しており、玄関も居室も鍵は掛 かっておらず自由に出入りできる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	全員が避難出来るまで何分かかかるかなど夜間想定での避難訓練を実施している。		地域住民の参加、協力を得ながらの避難訓練等の実施を検討してほしい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な栄養、水分が確保されるよう工夫している。特に栄養、水分の管理が必要な方はケース記録に記入すると共にチェック表を使用している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音量、明かりの調整に配慮し、共有空間に鉢や飾り物で季節感を出すようにしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	たんすや炬燵、仏壇、家族の写真などが持ち込まれ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----------	----------	-----	---------------------------------	--------------------------	-----------------------------------

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----------	----------	-----	---------------------------------	--------------------------	-----------------------------------

3 評価結果に対する事業所の意見

グループホーム なごみの家

記入担当者名 管理者 紺野 彩子

評価結果に対する事業所の意見

なし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。